

文民による平和維持訓練に対する支援



ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：21万米ドル

主なパートナー：アフリカ平和紛争研究所
(IPCS)

目的

このプロジェクトの全体的な目的は、国連およびアフリカ諸国の主導による平和維持活動および平和構築活動に関する能力と、ダルエスサラームで平和維持活動の訓練を実施する平和紛争研究所の組織能力の構築により、人間の安全保障を促進することです。

プロジェクトの成果

成果1：国連およびアフリカ連合の平和維持活動における多次元な平和支援活動（PSO）のために文民による平和維持活動の能力を高めること

成果2：危機回避、紛争解決および平和の定着に関する市民社会および政府職員の能力を強化し、国家の能力を高めること

成果3：IPCSが平和維持活動（PKO）の必要に応じた訓練を施す能力に加え、危機管理、危機回避、紛争解決および平和の定着に関する組織能力を強化し、日本の国際平和協力センター（JPC）が持つ平和維持活動（PKO）に関する専門知識を前提にJPCとの連携を強化すること

SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標5および16に貢献します。



From
the People of Japan

開発課題

過去5年の間、複数の国が関わる紛争と組織的暴力行為による犠牲者の数は、2014年にピークを迎えた後、世界的に減少に転じました。

しかしながらこの望ましい傾向は、サハラ以南のアフリカにおける国内紛争で増えている非国家的主体が関与する紛争や、それによる犠牲者の急増により、部分的に相殺されています。アフリカおよび世界における危機はより一層複雑化し、長期化しています。

過去10年間、アフリカでは国連による平和維持活動が増え続けていますが、テロおよび関連する脅威は著しく増加しています。また、維持する平和が存在しない国におけるアフリカ人の主導による平和執行活動もより多く発生しました。

紛争のダイナミクスに対するテロの影響もまたさらに深刻化し、テロと紛争の間の複雑なつながりに対する対処が求められています。